

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月3日 (2016.3.3)

【公表番号】特表2015-505561(P2015-505561A)

【公表日】平成27年2月23日 (2015.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-012

【出願番号】特願2014-555630(P2014-555630)

【国際特許分類】

A 0 1 N 43/56 (2006.01)

A 0 1 N 43/80 (2006.01)

A 0 1 N 43/78 (2006.01)

A 0 1 N 43/40 (2006.01)

A 0 1 N 43/54 (2006.01)

A 0 1 N 47/18 (2006.01)

A 0 1 N 43/60 (2006.01)

A 0 1 N 37/18 (2006.01)

A 0 1 N 43/10 (2006.01)

A 0 1 N 37/36 (2006.01)

A 0 1 N 43/90 (2006.01)

C 0 7 C 255/17 (2006.01)

C 0 7 C 323/29 (2006.01)

C 0 7 C 331/28 (2006.01)

【 F I 】

A 0 1 N 43/56 C

A 0 1 N 43/80 1 0 1

A 0 1 N 43/78 B

A 0 1 N 43/40 1 0 1 D

A 0 1 N 43/54 C

A 0 1 N 43/54 G

A 0 1 N 47/18 1 0 1 A

A 0 1 N 43/60

A 0 1 N 37/18 Z

A 0 1 N 43/10 F

A 0 1 N 37/36

A 0 1 N 43/90 1 0 3

C 0 7 C 255/17 C S P

C 0 7 C 323/29

C 0 7 C 331/28

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月15日 (2016.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

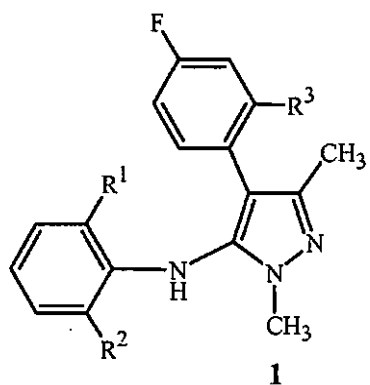
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 式 1 の化合物、その N - オキシドおよび塩から選択される少なくとも 1 種の化合

物と

【化 1】



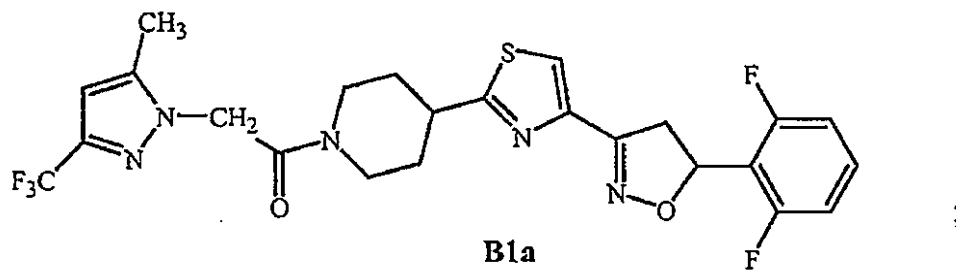
(式中、

R^1 はCl、 R^2 はF、および R^3 はClもしくはBrであるか：または
 R^1 はBr、 R^2 はF、および R^3 はClである)

(b)

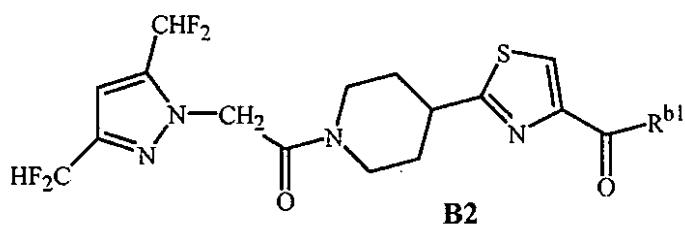
(b 1 a)

【化 2】

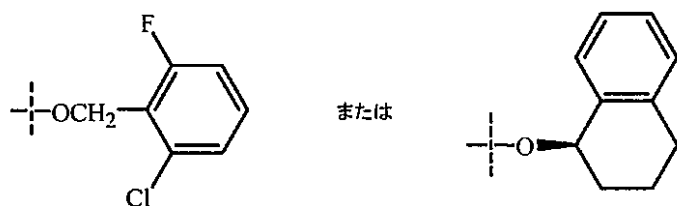


(b 2)

【化 3】

(式中、 R^{b1} は

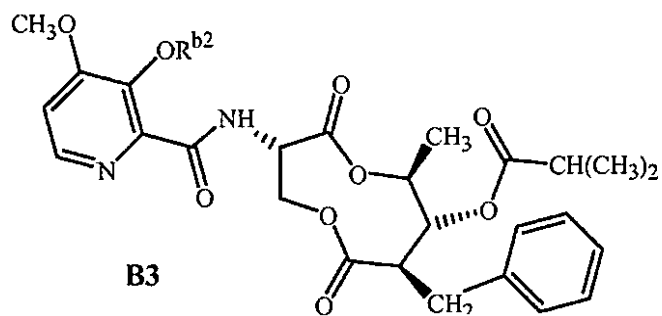
【化 4】



である) ;

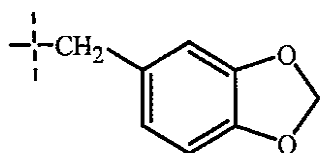
(b 3)

【化 5】



(式中、 R^{b2} は、 $-\text{CH}_2\text{OC}(\text{O})\text{CH}(\text{CH}_3)_2$ 、 $-\text{C}(\text{O})\text{CH}_3$ 、 $-\text{CH}_2\text{OC}(\text{O})\text{CH}_3$ 、 $-\text{C}(\text{O})\text{OCH}_2\text{CH}(\text{CH}_3)_2$ または

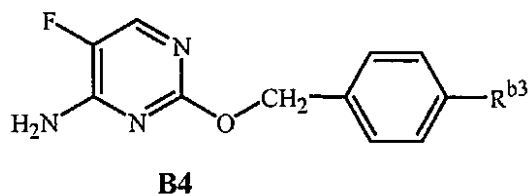
【化 6】



である) ;

(b 4)

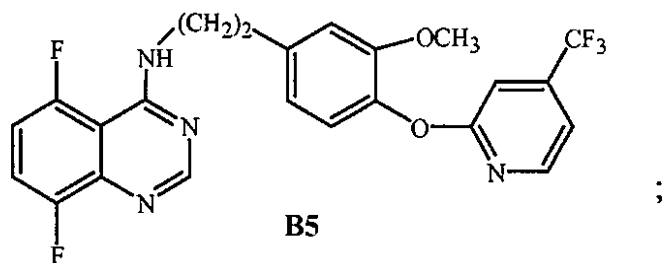
【化 7】



(式中、 R^{b3} は CH_3 または F である) ;

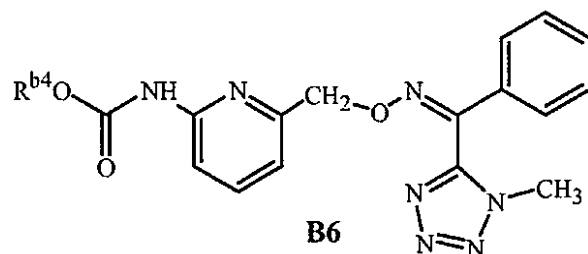
(b 5)

【化 8】



(b 6)

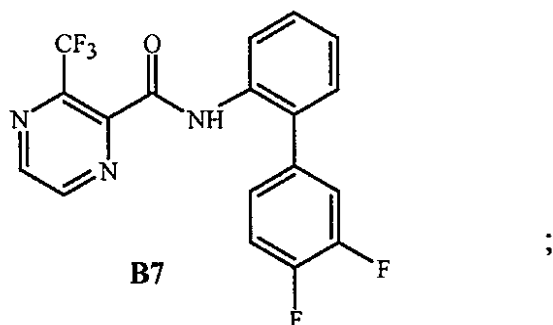
【化 9】



(式中、 R^{b4} は、 $-(CH_2)_4CH_3$ 、 $-C(CH_3)_3$ または $-(CH_2)_2C=CH_2$ である)；

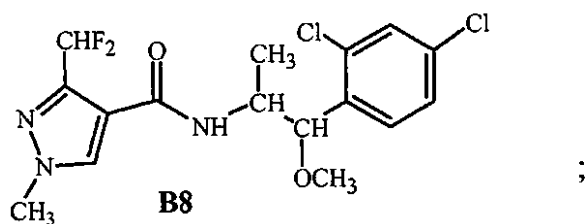
(b7)

【化10】



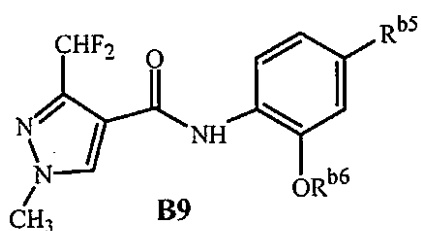
(b8)

【化11】



(b9)

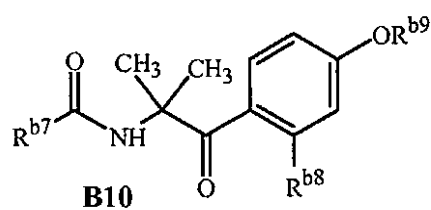
【化12】



(式中、 R^{b5} はHまたはFであり、および、 R^{b6} は、 $-CF_2CHFCF_3$ または $-CF_2CF_2H$ である)；

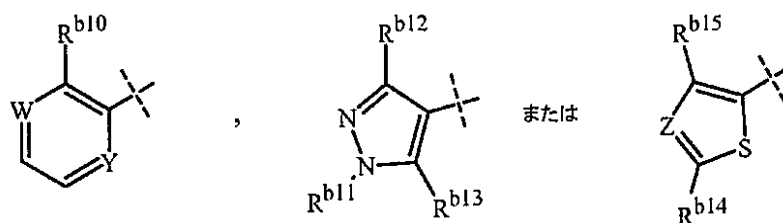
(b10)

【化13】



(式中、
 R^{b7} は

【化 1 4】



であり；

R^{b8} は H、ハロゲンまたは $C_1 \sim C_2$ アルキルであり；

R^{b9} は、 $C_1 \sim C_8$ アルキル、 $C_1 \sim C_8$ ハロアルキルまたは $C_2 \sim C_8$ アルコキシアリルであり；

R^{b10} は、ハロゲン、 $C_1 \sim C_2$ アルキルまたは $C_1 \sim C_2$ ハロアルキルであり；

R^{b11} は、ハロゲン、 $C_1 \sim C_2$ アルキルまたは $C_1 \sim C_2$ ハロアルキルであり；

R^{b12} は $C_1 \sim C_2$ アルキルであり；

R^{b13} は、H、ハロゲンまたは $C_1 \sim C_2$ アルキルであり；

R^{b14} は、 $C_1 \sim C_2$ アルキルまたは $C_1 \sim C_2$ ハロアルキルであり；

R^{b15} は、H、 $C_1 \sim C_2$ アルキルまたは $C_1 \sim C_2$ ハロアルキルであり；

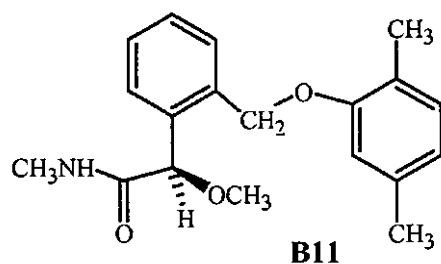
W は CH または N であり；

Y は CH または N であり；および

Z は CH または N である）；

(b 1 1)

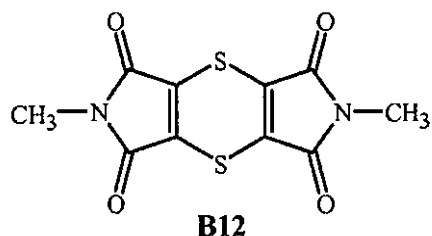
【化 1 5】



または

(b 1 2)

【化 1 6】



から選択される少なくとも 1 種の殺菌・殺カビ性化合物とを含む殺菌・殺カビ組成物およびその塩。

【請求項 2】

コンポーネント (a) が、

4 - (2 - クロロ - 4 - フルオロフェニル) - N - (2 - クロロ - 6 - フルオロフェニル) - 1 , 3 - ジメチル - 1 H - ピラゾール - 5 - アミン、および

4 - (2 - ブロモ - 4 - フルオロフェニル) - N - (2 - クロロ - 6 - フルオロフェニル)

ル) - 1, 3 - ジメチル - 1 H - ピラゾール - 5 - アミン

からなる群から選択される化合物を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

コンポーネント (c) が：

- (c 1) メチルベンズイミダゾールカルバメート殺菌・殺カビ剤；
- (c 2) ジカルボキシイミド殺菌・殺カビ剤；
- (c 3) 脱メチル化抑制殺菌・殺カビ剤；
- (c 4) フェニルアミド殺菌・殺カビ剤；
- (c 5) アミン / モルホリン殺菌・殺カビ剤；
- (c 6) リン脂質生合成抑制殺菌・殺カビ剤；
- (c 7) カルボキサミド殺菌・殺カビ剤；
- (c 8) ヒドロキシ (2 - アミノ -) ピリミジン殺菌・殺カビ剤；
- (c 9) アニリノピリミジン殺菌・殺カビ剤；
- (c 10) N - フェニルカルバメート殺菌・殺カビ剤；
- (c 11) キノン外部抑制殺菌・殺カビ剤；
- (c 12) フェニルピロール殺菌・殺カビ剤；
- (c 13) キノリン殺菌・殺カビ剤；
- (c 14) 脂質過酸化抑制殺菌・殺カビ剤；
- (c 15) メラニン生合成抑制 - レダクターゼ殺菌・殺カビ剤；
- (c 16) メラニン生合成抑制 - デヒドラターゼ殺菌・殺カビ剤；
- (c 17) ヒドロキシアニリド殺菌・殺カビ剤；
- (c 18) スクアレン - エポキシダーゼ抑制殺菌・殺カビ剤；
- (c 19) ポリオキシシン殺菌・殺カビ剤；
- (c 20) フェニル尿素殺菌・殺カビ剤；
- (c 21) キノン内部抑制殺菌・殺カビ剤；
- (c 22) ベンズアミド殺菌・殺カビ剤；
- (c 23) エノピラヌロン酸抗菌殺菌・殺カビ剤；
- (c 24) ヘキソピラノシル抗菌殺菌・殺カビ剤；
- (c 25) グルコピラノシル抗菌：タンパク質合成殺菌・殺カビ剤；
- (c 26) グルコピラノシル抗菌：トレハラーゼおよびイノシトール生合成殺菌・殺カビ剤；
- (c 27) シアノアセタミドオキシム殺菌・殺カビ剤；
- (c 28) カルバメート殺菌・殺カビ剤；
- (c 29) 酸化性リン酸化脱共役殺菌・殺カビ剤；
- (c 30) 有機錫殺菌・殺カビ剤；
- (c 31) カルボン酸殺菌・殺カビ剤；
- (c 32) 芳香族複素環式殺菌・殺カビ剤；
- (c 33) ホスホネート殺菌・殺カビ剤；
- (c 34) フタルアミド酸殺菌・殺カビ剤；
- (c 35) ベンゾトリアジン殺菌・殺カビ剤；
- (c 36) ベンゼン - スルホンアミド殺菌・殺カビ剤；
- (c 37) ピリダジノン殺菌・殺カビ剤；
- (c 38) チオフェン - カルボキサミド殺菌・殺カビ剤；
- (c 39) ピリミジンアミド殺菌・殺カビ剤；
- (c 40) カルボン酸アミド殺菌・殺カビ剤；
- (c 41) テトラサイクリン抗菌殺菌・殺カビ剤；
- (c 42) チオカルバメート殺菌・殺カビ剤；
- (c 43) ベンズアミド殺菌・殺カビ剤；
- (c 44) 宿主植物防御誘起殺菌・殺カビ剤；
- (c 45) 多部位接触作用殺菌・殺カビ剤；

(c 4 6) コンポーネント (a) およびコンポーネント (c 1) ~ (c 4 5) の殺菌・殺力ビ性化合物以外の殺菌・殺力ビ性化合物；ならびに、(c 1) ~ (c 4 6) の化合物の塩

からなる群から選択される少なくとも 1 種の殺菌・殺力ビ性化合物をさらに含む、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

アシベンゾラル - S - メチル、アルジモルフ、アメトクトラジン、アミスルプロム、アニラジン、アザコナゾール、アゾキシストロビン、ベナラキシル、ベナラキシル - M、ベノダニル、ベノミル、ベンチアパリカルブ、ベンチアパリカルブ - イソプロピル、ベトキサジン、ピナパクリル、ピフェニル、ピテルタノール、ピキサフェン、ブラストサイジン - S、ボスカリド、プロムコナゾール、ブピリメート、ブチオベート、カルボキシシ、カプロパミド、カプタホール、キャプタン、カルベンダジム、クロロネブ、クロロタロニル、クロゾリネート、クロトリマゾール、銅塩、シアゾファミド、シフルフェナミド、シモキサニル、シプロコナゾール、シプロジニル、ジクロフルアニド、ジクロシメット、ジクロメジン、ジクロラン、ジエトフェンカルブ、ジフェンコナゾール、ジフルメトリム、ジメチリモール、ジメトモルフ、ジモキシストロビン、ジニコナゾール、ジニコナゾール - M、ジノカップ、ジチアノン、ドデモルフ、ドジン、エディフェンホス、エネストロビン、エポキシコナゾール、エタコナゾール、エタボキサム、エチリモール、エトリジアゾール、ファモキサドン、フェンアミドン、フェナリモル、フェンブコナゾール、フェンフラム、フェンヘキサミド、フェノキサニル、フェンピクロニル、フェンプロピジン、フェンプロピモルフ、フェンピラザミン、酢酸トリフェニルスズ、塩化トリフェニルスズ、トリフェニルスズヒドロキシド、フェルバム、フェリムゾン、フルアジナム、フルジオキシニル、フルメトベル、フルモルフ、フルオピコリド、フルオピラム、フルオロイミド、フルオキサストロビン、フルキンコナゾール、フルシラゾール、フルスルファミド、フルチアニル、フルトラニル、フルトリアホール、フルキサピロキサド、ホルベット、ホセチル - アルミニウム、フベリダゾール、フララキシル、フラメトビル、ヘキサコナゾール、ヒメキサゾール、グアザチン、イマザリル、イミベンコナゾール、イミノクタジン、ヨードカルブ、イブコナゾール、イプロベンホス、イプロジオン、イプロバリカルブ、イソプロチオラン、イソピラザム、イソチアニル、カスガマイシン、クレソキシム - メチル、マンコゼブ、マンジプロパミド、マンネブ、メプロニル、メブチルジノカップ、メタラキシル、メタラキシル - M、メトコナゾール、メタスルホカルブ、メチラム、メトミノストロビン、メパニピリム、メトラフェノン、ミクロブタニル、ナフチフィン、ネオアソジン (メタルソン酸第二鉄 (f e r r i c m e t h a n e a r s o n a t e))、ヌアリモル、オクチリノン、オフレース、オリザストロビン、オキサジキシル、オキシリン酸、オキスポコナゾール、オキシカルボキシシ、オキシテトラサイクリン、ペンコナゾール、ペンシクロン、ペンフルフェン、ペンチオピラド、ペフラゾエート、亜リン酸およびその塩、フタリド、ピコキシストロビン、ピペラリン、ポリオキシシ、プロベナゾール、プロクロラズ、プロシミドン、プロバモカルブ、プロバモカルブ - 塩酸塩、プロピコナゾール、プロピネブ、プロキナジド、プロチオカルブ、プロチオコナゾール、ピラクロストロビン、ピラメトストロビン、ピラオキシストロビン、ピラゾホス、ピリベンカルブ、ピリブチカルブ、ピリフェノックス、ピリメタニル、ピリオフェノン、ピロキロン、ピロールニトリン、キンコナゾール、キノメチオネート、キノキシフェン、キントゼン、セダキサシ、シルチオファム、シメコナゾール、スピロキサミン、ストレプトマイシン、硫黄、テブコナゾール、テブフロキン、テクロフタラム、テクナゼン、テルピナフィン、テトラコナゾール、チアベンダゾール、チフルザミド、チオファネート、チオファネート - メチル、チラム、チアジニル、トルコホス - メチル、トリルフルアニド、トリアジメホン、トリアジメノール、トリアリモル、トリアゾキシド、トリシクラゾール、トリデモルフ、トリフルミゾール、トリシクラゾール、トリフロキシストロビン、トリホリン、トリモルフアミド、トリチコナゾール、ウニコナゾール、バリダマイシン、バリフェナレート、ピンクロゾリン、ジネブ、ジラム、ゾキサミド、N' - [4 - [4 - クロロ - 3 - (トリフルオロメチル

) フェノキシ] - 2 , 5 - ジメチルフェニル] - N - エチル - N - メチルメタンイミダミ
 ド、 5 - クロロ - 6 - (2 , 4 , 6 - トリフルオロフェニル) - 7 - (4 - メチルピペリ
 ジン - 1 - イル) [1 , 2 , 4] トリアゾロ [1 , 5 - a] ピリミジン (B A S 6 0 0)
 、 N - [2 - [4 - [[3 - (4 - クロロフェニル) - 2 - プロピン - 1 - イル] オキシ
] - 3 - メトキシフェニル] エチル] - 3 - メチル - 2 - [(メチルスルホニル) アミノ
] ブタンアミド、 N - [2 - [4 - [[3 - (4 - クロロフェニル) - 2 - プロピン - 1
 - イル] オキシ] - 3 - メトキシフェニル] エチル] - 3 - メチル - 2 - [(エチルスル
 ホニル) アミノ] ブタンアミド、 2 - ブトキシ - 6 - ヨード - 3 - プロピル - 4 H - 1 -
 ベンゾピラン - 4 - オン、 3 - [5 - (4 - クロロフェニル) - 2 , 3 - ジメチル - 3 -
 イソキサゾリジニル] ピリジン、 4 - フルオロフェニル N - [1 - [[[1 - (4 - シア
 ノフェニル) エチル] スルホニル] メチル] プロピル] カルバメート、 N - [[(シクロ
 プロピルメトキシ) アミノ] [6 - (ジフルオロメトキシ) - 2 , 3 - ジフルオロフェニ
 ル] メチレン] ベンゼンアセタミド、 - (メトキシイミノ) - N - メチル - 2 - [[[1
 - [3 - (トリフルオロメチル) フェニル] エトキシ] イミノ] メチル] ベンゼンアセ
 タミド、 N ' - [4 - [4 - クロロ - 3 - (トリフルオロメチル) フェノキシ] - 2 , 5
 - ジメチルフェニル] - N - エチル - N - メチルメタンイミダミド、 N - (4 - クロロ -
 2 - ニトロフェニル) - N - エチル - 4 - メチルベンゼンスルホンアミド、 2 - [[[[3
 - (2 , 6 - ジクロロフェニル) - 1 - メチル - 2 - プロペン - 1 - イリデン] アミノ
] オキシ] メチル] - (メトキシイミノ) - N - メチルベンゼンアセタミド、 1 - [(2
 - プロペニルチオ) カルボニル] - 2 - (1 - メチル - エチル) - 4 - (2 - メチル
 フェニル) - 5 - アミノ - 1 H - ピラゾール - 3 - オン、 エチル - 6 - オクチル - [1 ,
 2 , 4] トリアゾロ [1 , 5 - a] ピリミジン - 7 - イルアミン、 ペンチル N - [4 - [[[(1
 - メチル - 1 H - テトラゾール - 5 - イル) フェニルメチレン] - アミノ] オ
 キシ] メチル] - 2 - チアゾリル] カルバメート、 ペンチル N - [6 - [[[[(1 - メ
 チル - 1 H - テトラゾール - 5 - イル) - フェニルメチレン] アミノ] オキシ] メチル]
 - 2 - ピリジニル] カルバメート、 2 - [(3 - プロモ - 6 - キノリニル) - オキシ] -
 N - (1 , 1 - ジメチル - 2 - ブチン - 1 - イル) - 2 - (メチルチオ) アセトアミド、
 2 - [(3 - エチニル - 6 - キノリニル) - オキシ] - N - [1 - (ヒドロキシメチル)
 - 1 - メチル - 2 - プロピン - 1 - イル] - 2 - (メチルチオ) アセトアミド、 N - (1
 , 1 - ジメチル - 2 - ブチン - 1 - イル) - 2 - [(3 - エチニル - 6 - キノリニル) オ
 キシ] - 2 - (メチルチオ) アセトアミドおよび N ' - [4 - [[3 - [(4 - クロロフ
 エニル) メチル] - 1 , 2 , 4 - チアジアゾール - 5 - イル] オキシ] - 2 , 5 - ジメチ
 ルフェニル] - N - エチル - N - メチルメタンイミダミドから選択される (c) 少なくと
 も 1 種の化合物をさらに含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物と、界面活性剤、固体希釈剤および液体希
 釈剤からなる群から選択される少なくとも 1 種の追加のコンポーネントとを含む組成物。

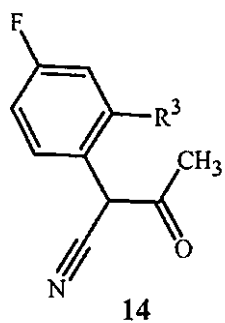
【請求項 6】

真菌性病原体によって引き起こされる病害から植物または植物の種子を保護する方法で
 あって、殺菌・殺力比的に有効な量の請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の組成物を前記
 植物または植物の種子に適用するステップを含む方法。

【請求項 7】

式 1 4 の化合物

【化 17】

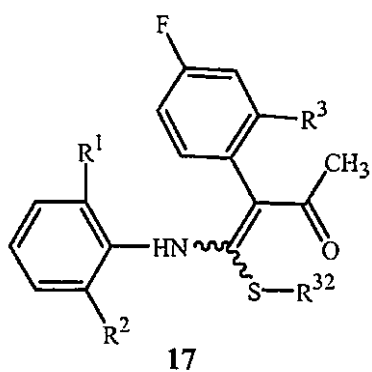


(式中、 R^3 はClまたはBrである)。

【請求項 8】

式 17 の化合物

【化 18】



(式中、

R^1 はCl、 R^2 はF、および R^3 はClもしくはBrであるか：または

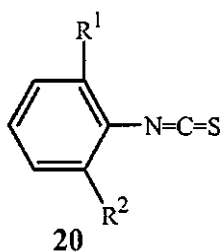
R^1 はBr、 R^2 はF、および R^3 はClであり

R^{32} は、H、 CH_3 、 CH_2CH_3 または $(CH_2)_2CH_3$ である)。

【請求項 9】

式 20 の化合物

【化 19】

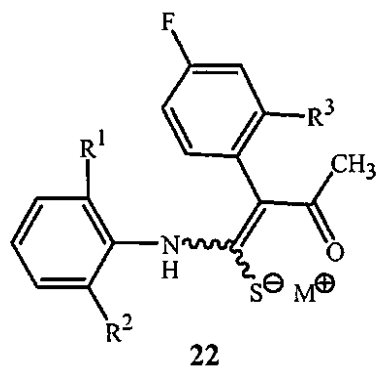


(式中、 R^1 はBrであり、および、 R^2 はFである)。

【請求項 10】

式 22 の化合物

【化 20】



(式中、

R^1 はCl、 R^2 はF、および R^3 はClもしくはBrであるか；または

R^1 はBr、 R^2 はF、および R^3 はClであり；および

MはNaまたはKである)。

【請求項 11】

化合物 (a) が、4 - (2 - ブロモ - 4 - フルオロフェニル) - N - (2 - クロロ - 6 - フルオロフェニル) - 1, 3 - ジメチル - 1H - ピラゾール - 5 - アミンである、請求項 1 に記載の組成物。